

# CASBEE® 広島

(2010年ver.1)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb\_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	税務大学校広島研修所	階数	地上4F
建設地	広島県広島市南区霞1丁目16-3	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	80人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年1月 予定	評価の実施日	2013年2月25日
敷地面積	3,180 m <sup>2</sup>	作成者	笹村 欽也
建築面積	1,544 m <sup>2</sup>	確認日	2013年2月28日
延床面積	2,980 m <sup>2</sup>	確認者	上羽一輝



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.6** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-3 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.6

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.8

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.3

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

### 3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.4

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.5	スコア = 3.3	スコア = 3.0
<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> 学校としての大きな採光窓や換気工の確保に努め、用途に適した内装材の選択を行っている / 地域の風を建物内に取り込むよう配慮、太陽光発電パネルを設置し太陽光を変換利用 / 官庁建物としてふさわしい高効率化を目指している / 税務大学校内で運用、維持、保全の基本方針が計画されている / トイレでは省水型機器(擬音装置)を用いている。また雨水利用を積極的に行い、雑排水再利用システムを導入。再生骨材の路盤再利用、エコマークを取得したタイルの利用。 /	<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> 敷地内緑化を積極的に行っている。 / 敷地周辺の交通量に配慮した配置計画	<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> 内装では防汚生の高い材料を外装では耐候性の高い材料を採用 / 給水管にステンレス鋼管、消火管に配管用炭素鋼管(白)を使用

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される